

第21回 土木鋼構造研究シンポジウム

－基礎構造物のさらなる耐震・防災技術の向上に向けた取り組み－

鉄鋼業界では、平成7年度に「鋼構造研究・教育助成制度」を設け、以来、鋼構造に携わっておられる研究者を対象に研究助成事業を実施しており、毎年、研究成果ならびに関連テーマに関するご報告の場として「土木鋼構造研究シンポジウム」を開催しております。

第21回を迎える今回は、「基礎構造物のさらなる耐震・防災技術の向上に向けた取り組み」と題し、近年における防災ニーズに対応し、関連技術の直近の研究成果と今後の展望について講演を予定しております。

ぜひ多くの皆様のご参加を賜りたく、ご案内いたします。

日 時：平成29年3月14日(火) 13:00～18:05

会 場：コクヨホール 2階 (定員 300 名)
住所：東京都港区港南 1-8-35



主 催：一般社団法人日本鉄鋼連盟

後 援：一般社団法人日本鋼構造協会、一般社団法人鋼管杭・鋼矢板技術協会、公益社団法人土木学会
公益社団法人地盤工学会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人日本橋梁建設協会

時間・演題・講師 (都合により時間・演題・講師が変更になる場合があります)

総合司会：日本鉄鋼連盟 土木委員会 委員長 田中 宏征

13:00～13:05	日本鉄鋼連盟 建設企画委員会 委員長 挨拶 J F E スチール株式会社 専務執行役員 那須 七信
13:05～13:10	座長挨拶 横浜国立大学 先端科学高等研究院 上席特別教授 (東京大学 名誉教授) 藤野 陽三
13:10～14:00	－基調講演－「臨海部産業施設の強靱化と課題」 アジア防災センター センター長 (早稲田大学 名誉教授) 濱田 政則
14:00～14:40	「激震時に地盤の液状化に伴う高層建築物の高靱性鋼管杭の損傷予測法の提案と 損傷抑制法の開発」 東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授 木村 祥裕
14:40～14:50	休 憩
14:50～15:30	「鋼管杭基礎の二次設計法確立に向けた地震時応力評価法の研究」 芝浦工業大学 工学部建築学科 教授 土方 勝一郎
15:30～16:10	「液状化地盤における橋梁基礎の耐震性能評価方法と耐震対策技術の開発 (SIP)」 国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 上席研究員 七澤 利明
16:10～16:50	「河川堤防の L2 地震動に対する液状化対策補強に関する研究」 愛媛大学 大学院 理工学研究科 教授 岡村 未対
16:50～17:00	休 憩
17:00～18:00	－特別講演－「熊本地震を教訓とした災害多発地域の社会基盤整備のあり方」 関西大学 社会安全学部 社会安全研究センター長 (京都大学 名誉教授) 河田 恵昭
18:00～18:05	総評・副座長挨拶 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 理事 港湾空港技術研究所長 栗山 善昭

受 講 料：無料

申込方法：下記ホームページの申込フォームからお申込みください

www.jisf.or.jp/info/event/dobokushinpo/21_20170314.html

参加申込受付時に返信される確認メールを印刷の上、当日会場にお持ちください

問合せ先：一般社団法人日本鉄鋼連盟 経営政策本部 市場開発グループ

TEL：(03)3669-4815 FAX：(03)3667-0245 E-mail：dobokushinpo@jisf.or.jp

申込締切：平成29年2月28日(火)必着 ※定員になり次第、締め切らせていただきます